石川県障害者技能競技大会
（アビリンピック石川大会）

ビルクリーニング競技

◎一般的な注意事項

１．課題は弾性床清掃及び机上清掃です。課題は時間が定められており、標準時間１０分です。
２．使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
３．競技採点は、作業準備、作業動作（手順）、仕様誤り、作業態度、作業時間、総合評価により審査します。
４．作業に適した服装をしてください。
５．作業開始の指示は審査員が行います。
６．作業ごとに入退室を行う際には会釈（軽く挨拶や礼）をしてください。
７．「始めます」「終わりました」の申告と、入退室の際の「失礼します」「失礼しました」以外は、競技中に声を出さないでください。

◎課題：弾性床清掃及び机上清掃

１．作業面積は１６㎡（４ｍ×４ｍ）とし、幅木により区画とします。
２．床材質は塩化ビニール系の長尺シートの床面とします。
３．ゴミ処理・床面の掃き・拭き作業及び机上拭きの作業です。
４．作業に使用する色々な資機材・消耗品は、作業用カートに乗せてあるものを点検してください。
５．モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に自分で操作しやすい長さに調節してください。
６．乾式モップ用クロスは競技者が作業前に取り付けて点検してください。
７．床のゴミは「おがくず」とし、５０㎖程度をまいたものとします。
８．幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
９．作業場所にある机は移動させないでください。
10．使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

◎資機材一覧表

１．各競技場に準備されているもの

品名	寸法又は規格	数量
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	１台
作業標示板		１個
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	１本
ラーグ（モップ房）	260g 白色	１枚
小型ぼうき	30cm 幅用	１本
乾式モップヘッド	63cm	１枚
文化ちりとり	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	１個
タオル	無地　水拭き用　（青色）１枚、 無地　から拭き用（白色）１枚	２枚
ダスタークロス	69cm 幅の不織布	１枚
ビニール袋	ゴミ箱用替袋	１枚
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	１個
イス	パイプ式折りたたみ（施設で準備）	１脚
ゴミ箱		１個

２．競技者が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量
作業着（上・下）		１着
作業帽又は三角巾		１個
作業靴		１足

注：持参するものは上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参してもよい

◎課題詳細

弾性床清掃及び机上清掃（時間１０分）

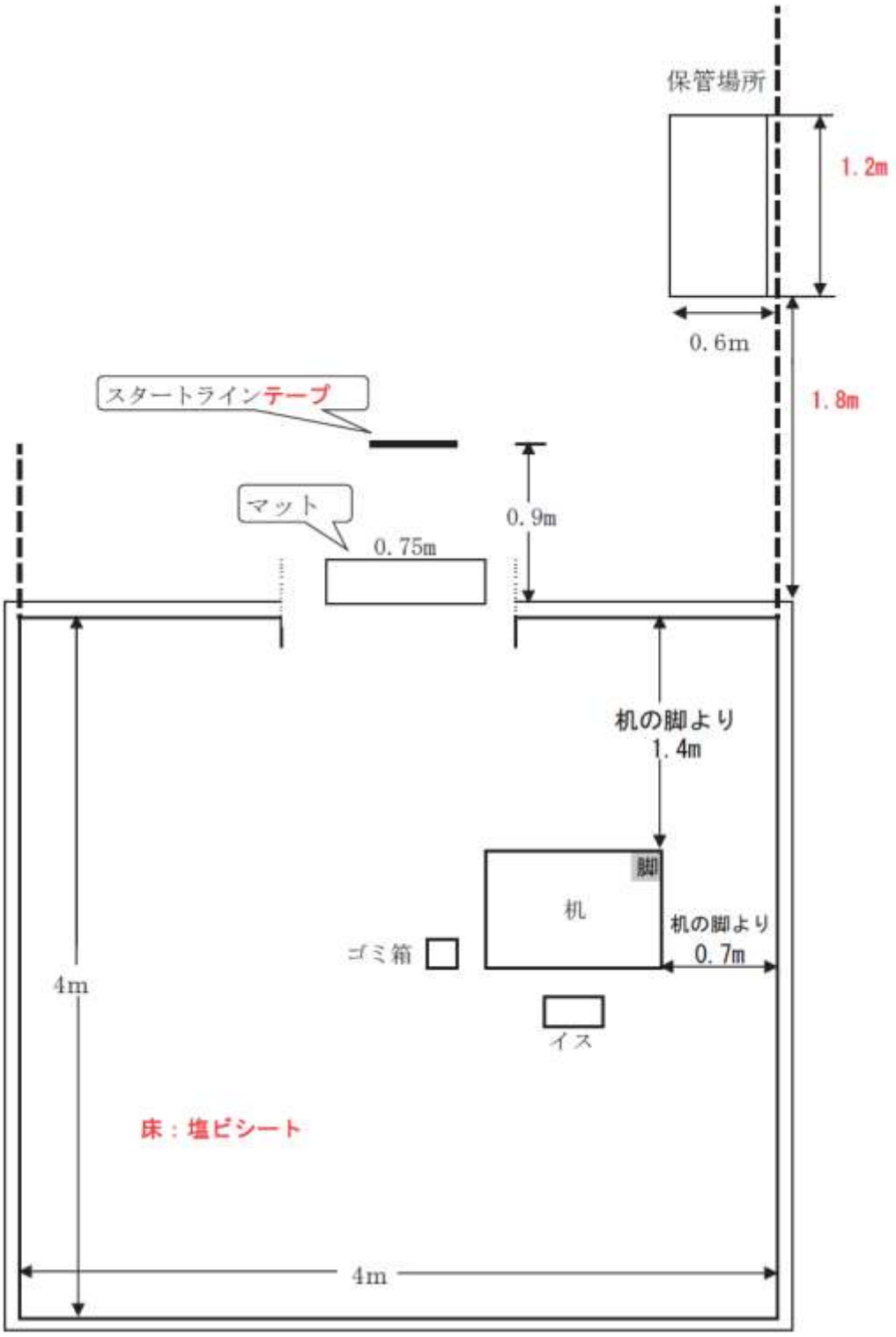
作業仕様１－１

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 （必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと） ①柄の長さを調整する。 ②ダスタークロスを乾式モップヘッドに装着する。	資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。 柄は所定の位置に立て、乾式モップヘッドはカート上部の所定の位置に置く。	資機材の点検終了後、係員の指示に従い、所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	審査員の始めの合図で「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手をあげ、礼をする。	「始めます」と作業開始を申告する。
作業準備	①作業カートを保管場所から作業場所の近くへ移動する。 ②作業標示板を立てる。	所定の位置に作業表示板を立てる。	
入室の挨拶	入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」等、一礼、挨拶し入室する。	声を出して申告する。
イス上げとゴミ処理 (1)イスを上げる (2)ゴミ回収 (3)ゴミ袋のセット	①作業前にイスを机の上にあげる。 ②ゴミ箱にセットされているゴミ袋ごと処理する。 ③ゴミ袋を出口においてあるカートゴミ袋に入れる。 ④ゴミ袋のスペア袋をゴミ箱にセットする。 ⑤ゴミ箱を机の上に上げる。	・机は動かさない。 ・イスは机の四隅からはみ出さないように正しくのせる。 ・ゴミ箱は机から、はみ出さないように正しくのせる。 ・ビニール袋を正しくセットする。	
除塵作業 （掃き作業）	①乾式モップヘッドを柄に装着し、外から入り口を除塵し、作業場所へ入る。 ②入り口より奥に向かって右幅木側・幅木側・机の下・中央部へと順に作業を行う。 ③前進しながら出口に向かって１箇所に集める。 ④ヘッドを柄から外す。 ⑤使用済みのダスタークロスをヘッドから外す。 ⑥柄とヘッドをカートに戻す。 ⑦小ぼうきと文化ちり取りを持って集めたゴミをとる。 ⑧ゴミの取り残しがないか点検する。 ⑨小ぼうき、文化ちり取りをカートに収める。	・ヘッドの辺は広い方を先行させる（赤印をつけてある）。 ・ゴミを踏まないように足場を確保する。 ・ヘッドを床から離さない。 ・使用済みクロスはカートの袋の中に入れる。 ・ゴミの取り残しがあれば小ぼうきと文化ちり取りでゴミを取り除く。 ・ヘッドは、カート上部の所定の位置に置く。 ・ヘッドはスポンジ面を上にして置く。	ゴミはおがくずを50mℓ程度均等に撒いている。 点検の際に声をださないこと。

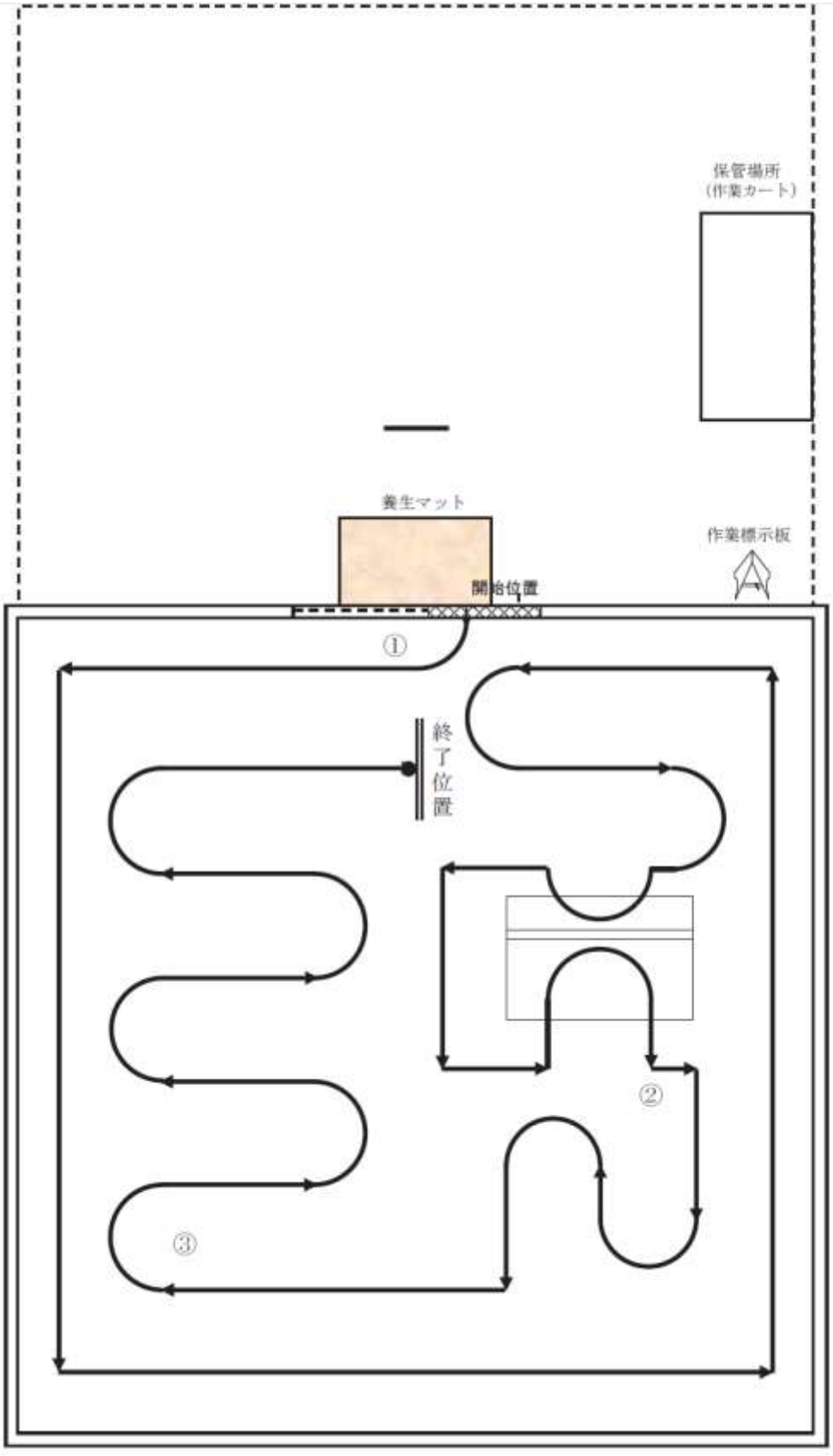
作業仕様１－２

作業工程	作業方法	補足事項	備考
水拭き（モップ）	①コート全面を拭く。 ②幅木側、机の下、中央部の順に拭く。 ③コーナー周りと机の足元は房糸に手を添えて拭く。 ④モップは時々裏返し、モップ全体を使って拭く。 ⑤モップは横拭きとし、後退しながら拭く。	・拭き残し、拭きむらのないようにする。 ・横拭きは柄の先端に親指を添えるのを基本とする。 ・幅木、机の脚部に触れないようにする。 ・拭いたところを踏まないようにする。	
ゴミ箱とイスを下ろす	安全に音を立てないように下す。	足の上に落とさないように注意する。	
机上拭き	①青色のタオルを八折にして持つ。 ②机の縁を含めて、四隅から中央へと行う。 ③タオルが汚れたらきれいな面を出して拭く。 ④横拭き・縦拭きを行う。 ⑤机の上を水拭きした後に白色のタオルでから拭きを行う。 ⑥水拭きと同様に作業を行う。	拭き残し、拭きむらのないようにする。	
点検	指差し及び目視点検を行う。	資機材の忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。	点検の際に声をださないこと。
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」等、一礼し、挨拶を行う。	声を出して申告する。
資機材の片付け	作業標示板を作業カートに収納し、作業カートを所定の位置に戻す。		
終了挨拶	所定の位置に立ち、終了挨拶を行う。	「終わりました」「終了しました」等の意思表示を行う。	

標準配置図（モデル）

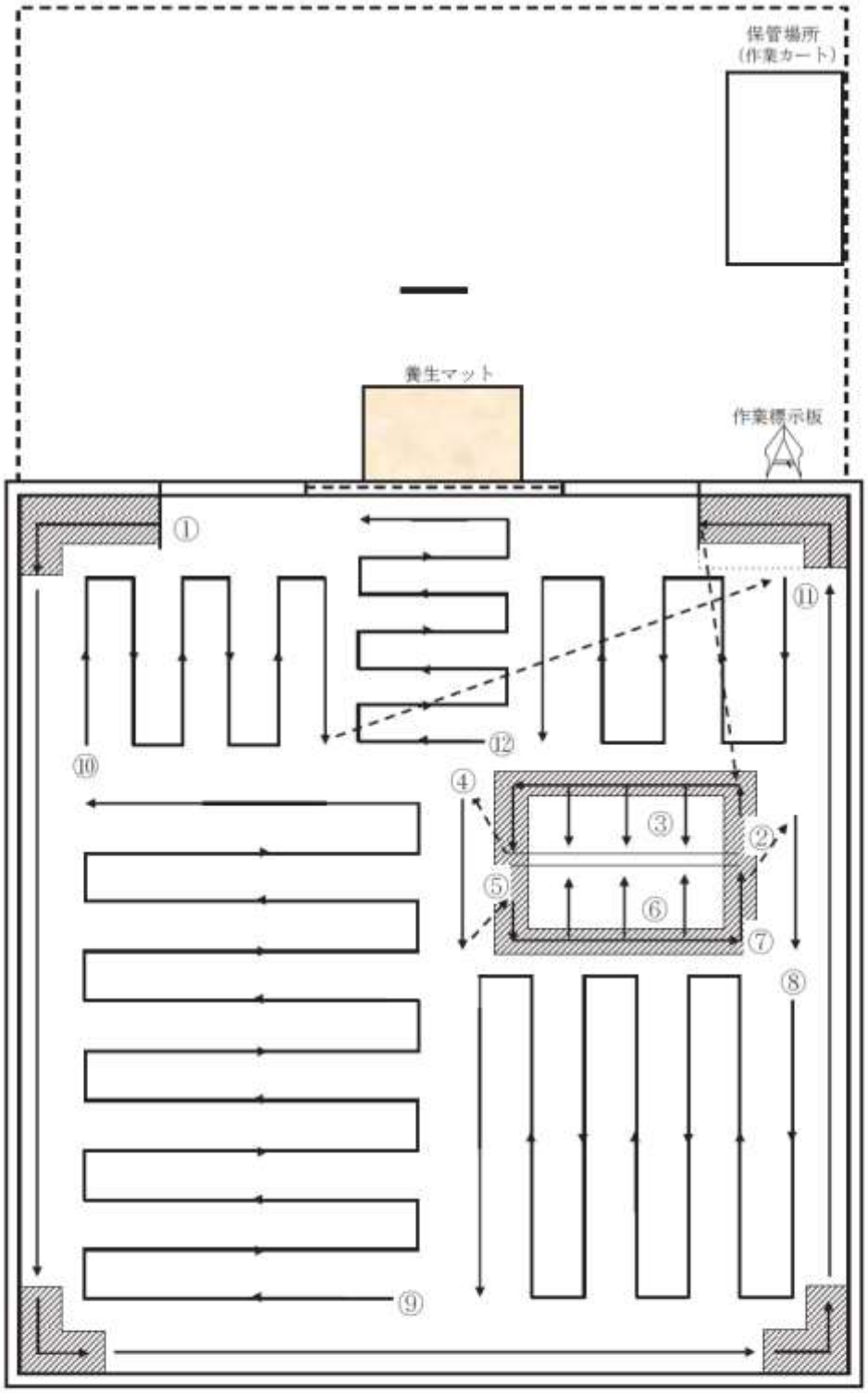

保管場所
1.2m
0.6m
1.8m
スタートラインテープ
マット
0.75m
0.9m
机の脚より
1.4m
脚
机
机の脚より
0.7m
ゴミ箱
イス
4m
4m
床：塩ビシート

乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

水拭きモップ作業手順



注：▨ 印は手を添える箇所を示す。

水拭き回数を入れたものではありません。

①巾木側を１週すること。（コーナーは手を添えます）

②～③机の足回りを拭き、机の下を拭く。（足回りについては手を添えて）

⑤～⑥反対側の机の足回りを拭き、机の下を拭く。（足回りについては手を添えて）

⑧～⑩スパンを決めて拭き上げる。